

平成25年度
中期財政見通しのポイント



平成25年9月
福知山市

目次

- 1 概要
- 2 歳入の推移
- 3 市税収入の推移
- 4 実質的な地方交付税の推移
- 5 一般財源総額の推移
- 6 歳出の推移
- 7 義務的経費の推移
- 8 収支状況の推移
- 9 基金残高の推移
- 10 市債残高の推移

1 概要

■ 目的

普通会計の歳入、歳出及び基金残高、公債費残高がどのように推移していくかを推計し、中長期視点に立った計画的財政運営を進める。

■ 期間

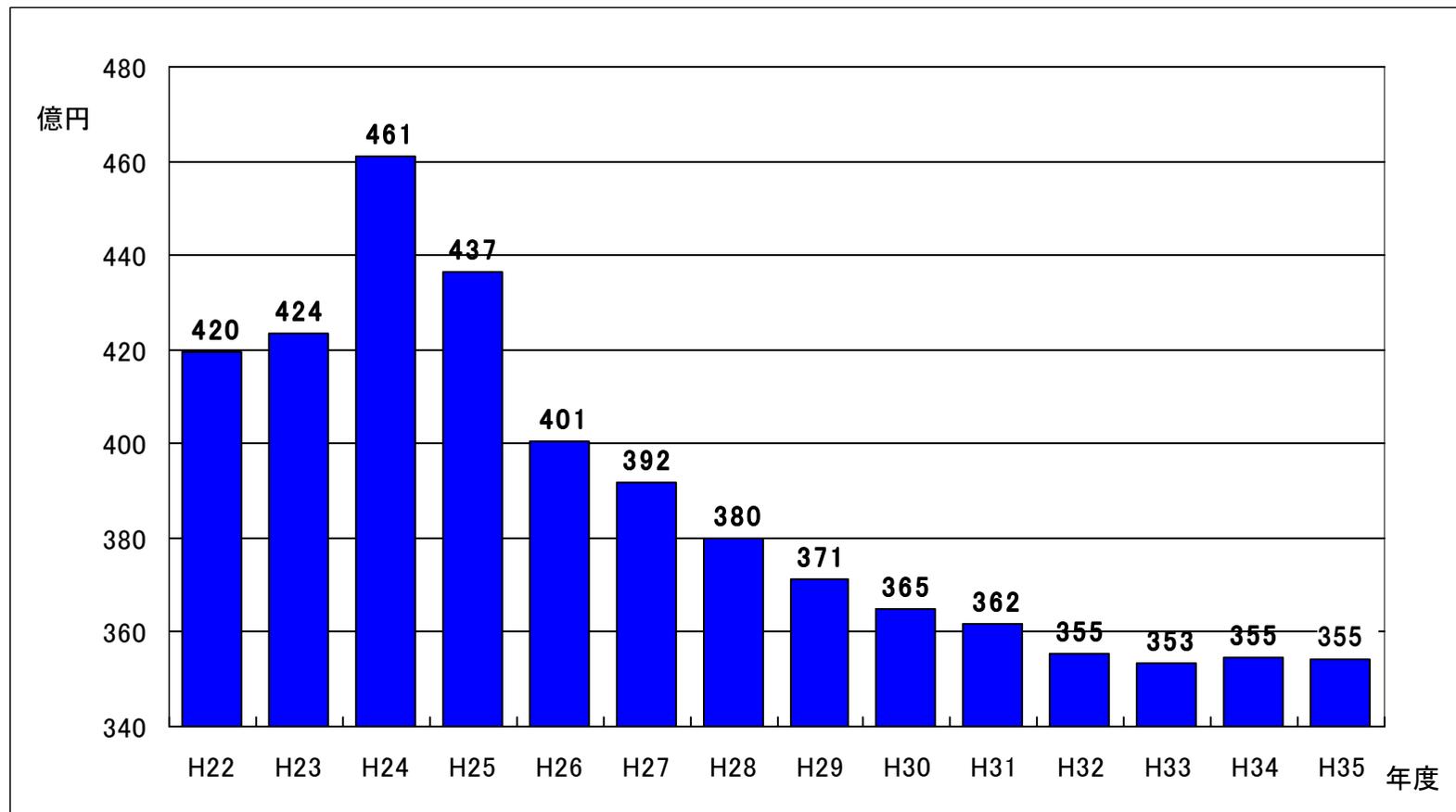
平成26年度から平成35年度まで(10年間)

■ 算定基礎

- 地方財政状況調査に準じた普通会計ベース
- 平成24年度は実績額、平成25年度は補正予定額、平成26年度以降は特殊事情を考慮、一定の伸びを想定
- 過疎対策債、合併特例債発行期間を平成32年度まで延長
- 消費税増税は地方への配分方法や活用方法が不明のため織り込まない

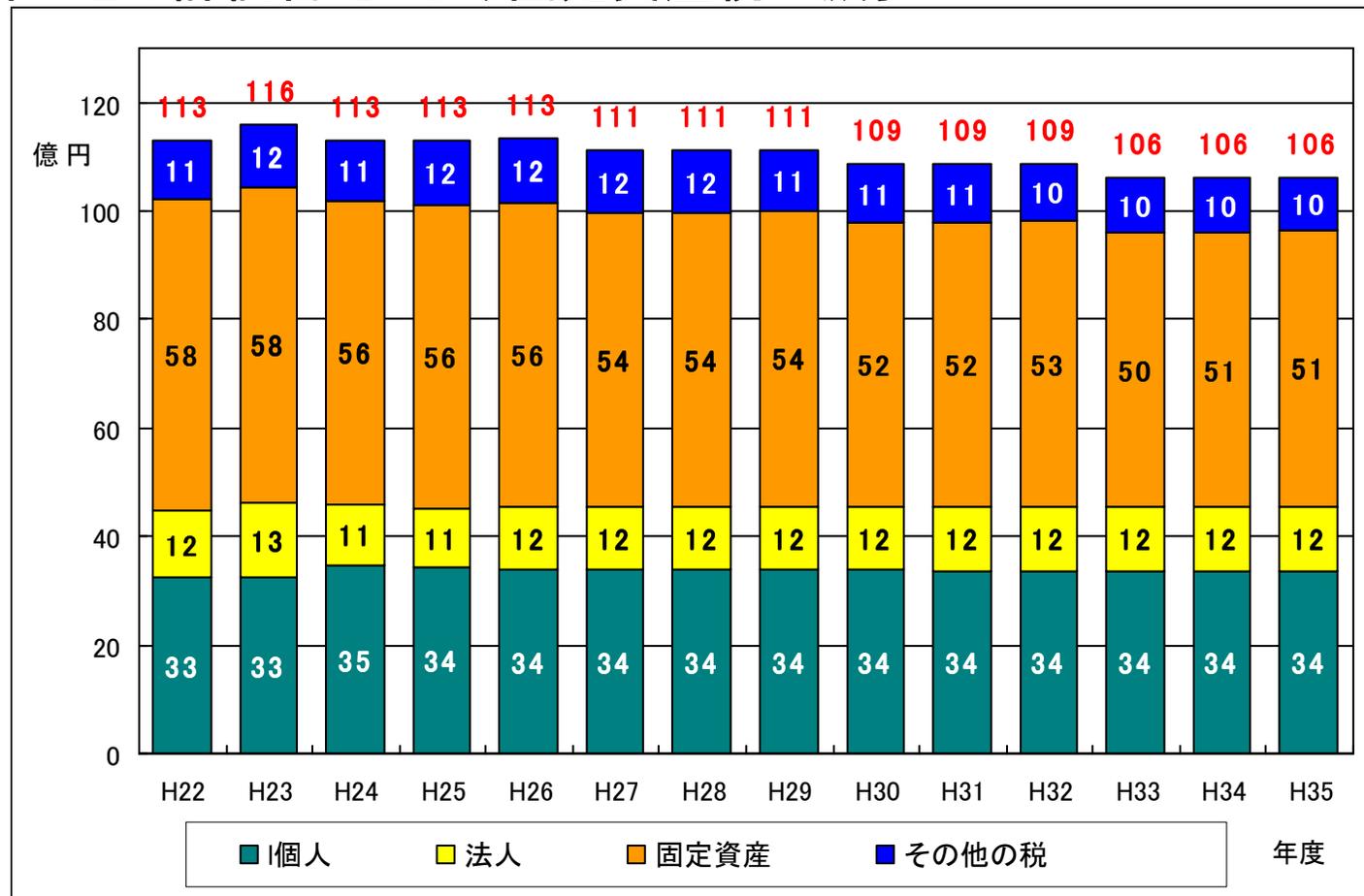
2 歳入の推移

- 平成24年度は、第三セクター等改革推進債発行や財政調整基金繰入により歳入総額は過去最大の**461**億円。以後減少傾向



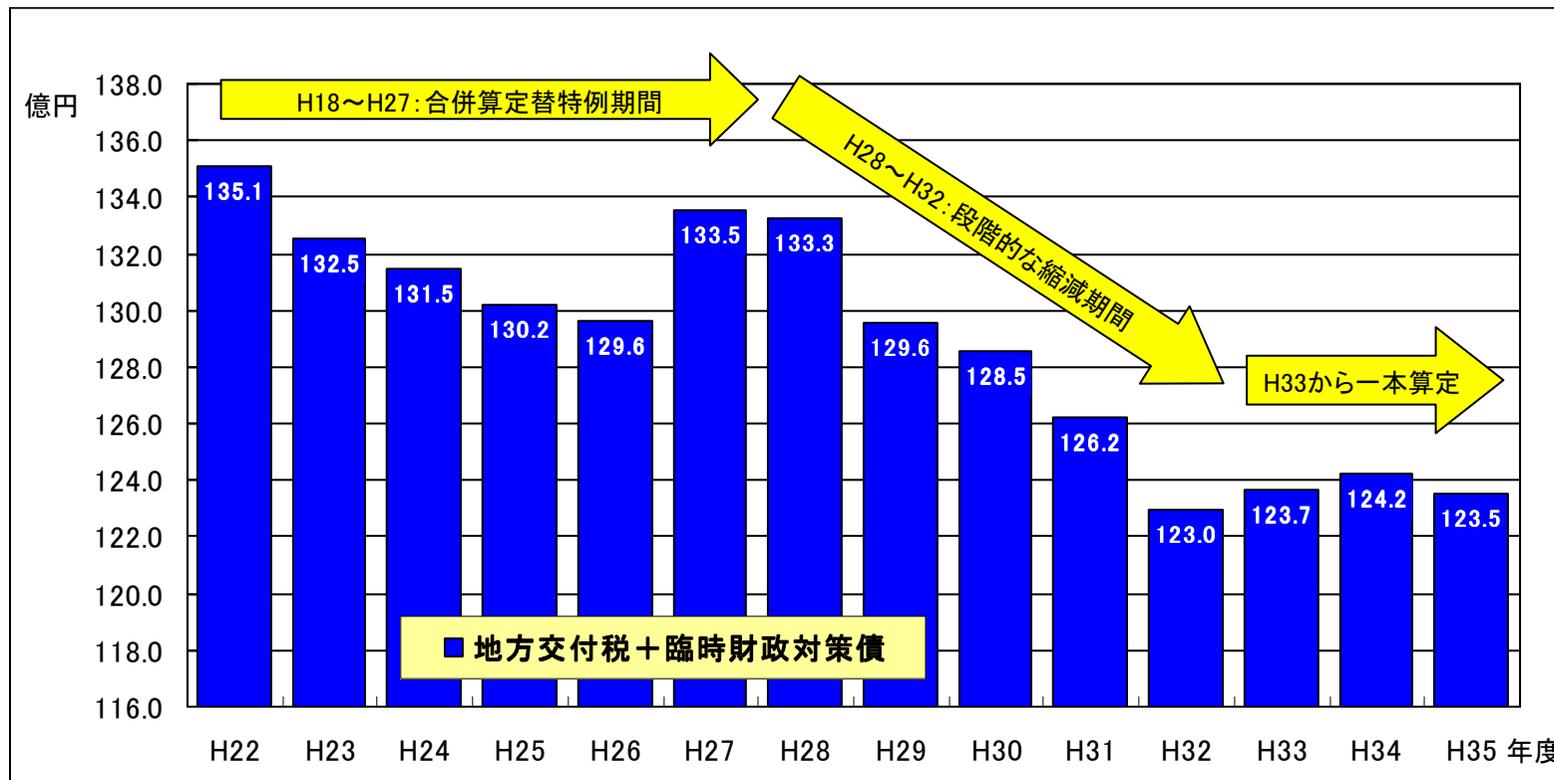
3 市税収入の推移

- 平成35年度は平成25年度比 7億円の減少
- 3年ごとの評価替えにより固定資産税が減少



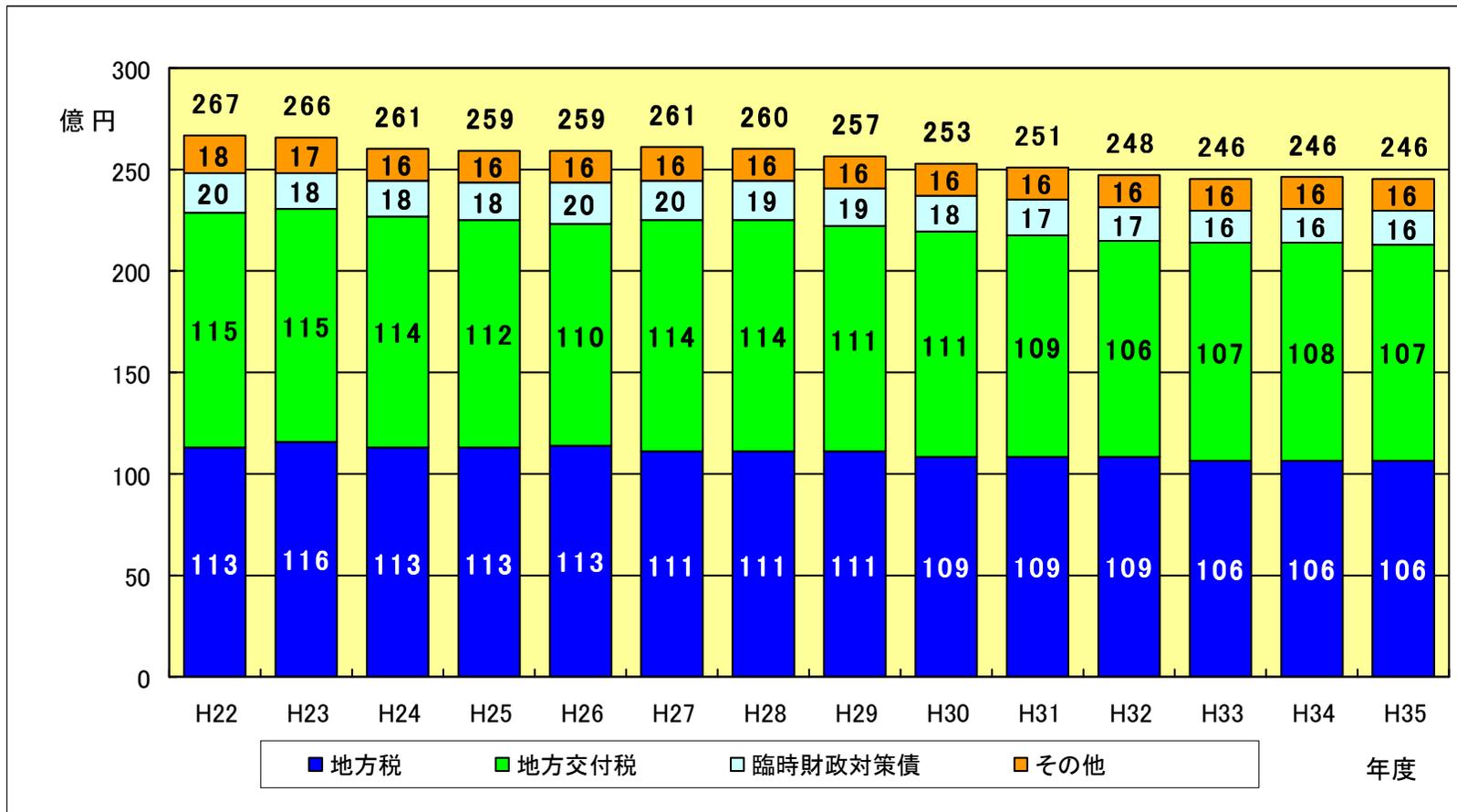
4 実質的な地方交付税の推移

- 臨時財政対策債を加えた実質的な地方交付税は平成33年度に一本算定へ移行するため平成28～32年度に段階的に縮減
- 平成25年度は給与削減分で減少、平成26年度は復元を見込むが交付税総額では1.8%減少(国概算要求)を推計



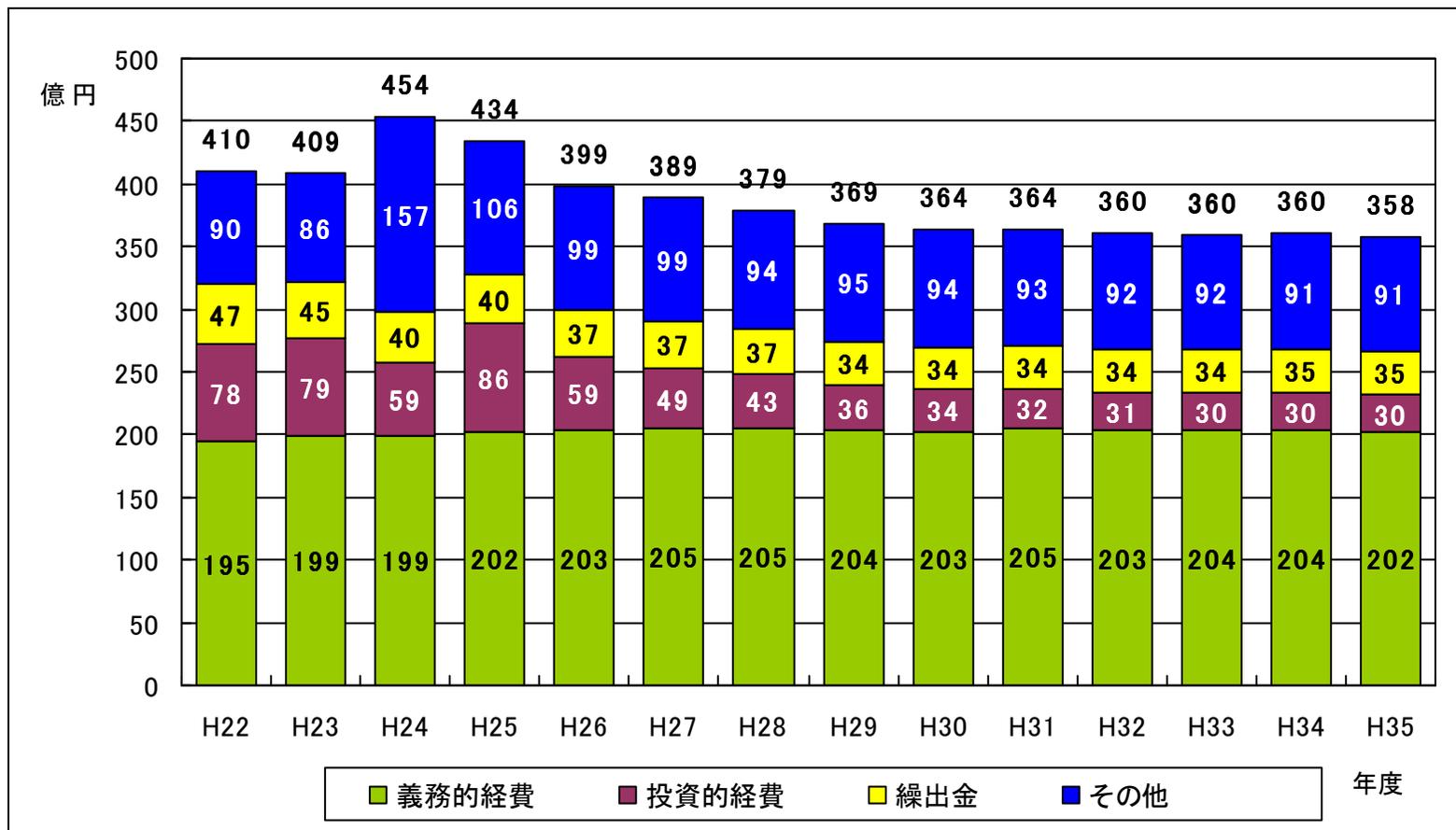
5 一般財源総額の推移

- 一般財源総額は平成27年度の261億円をピークに減少
- 平成35年度には平成25年度比で13億円減少



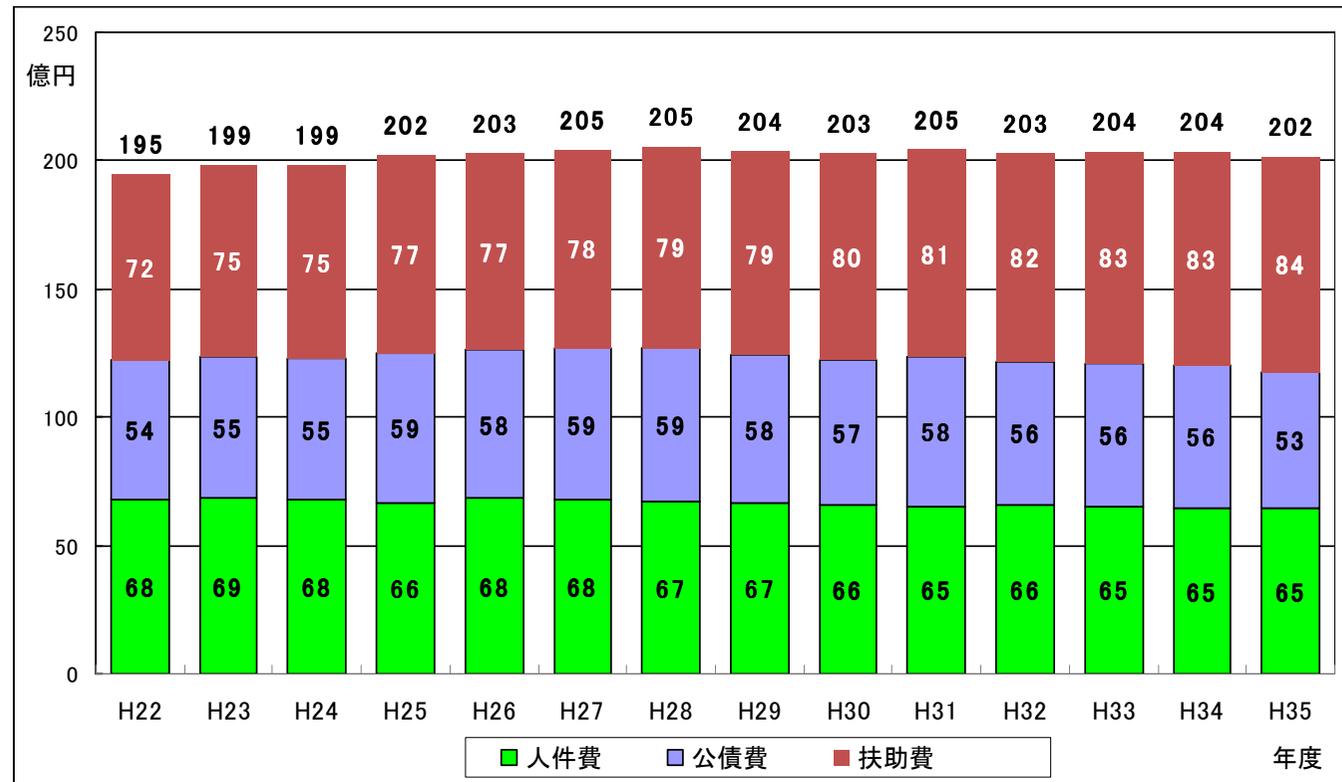
6 歳出の推移

- 合併特例期間終了後の投資的経費は年間**30**億円
- 平成**35**年度には歳出規模は**358**億円



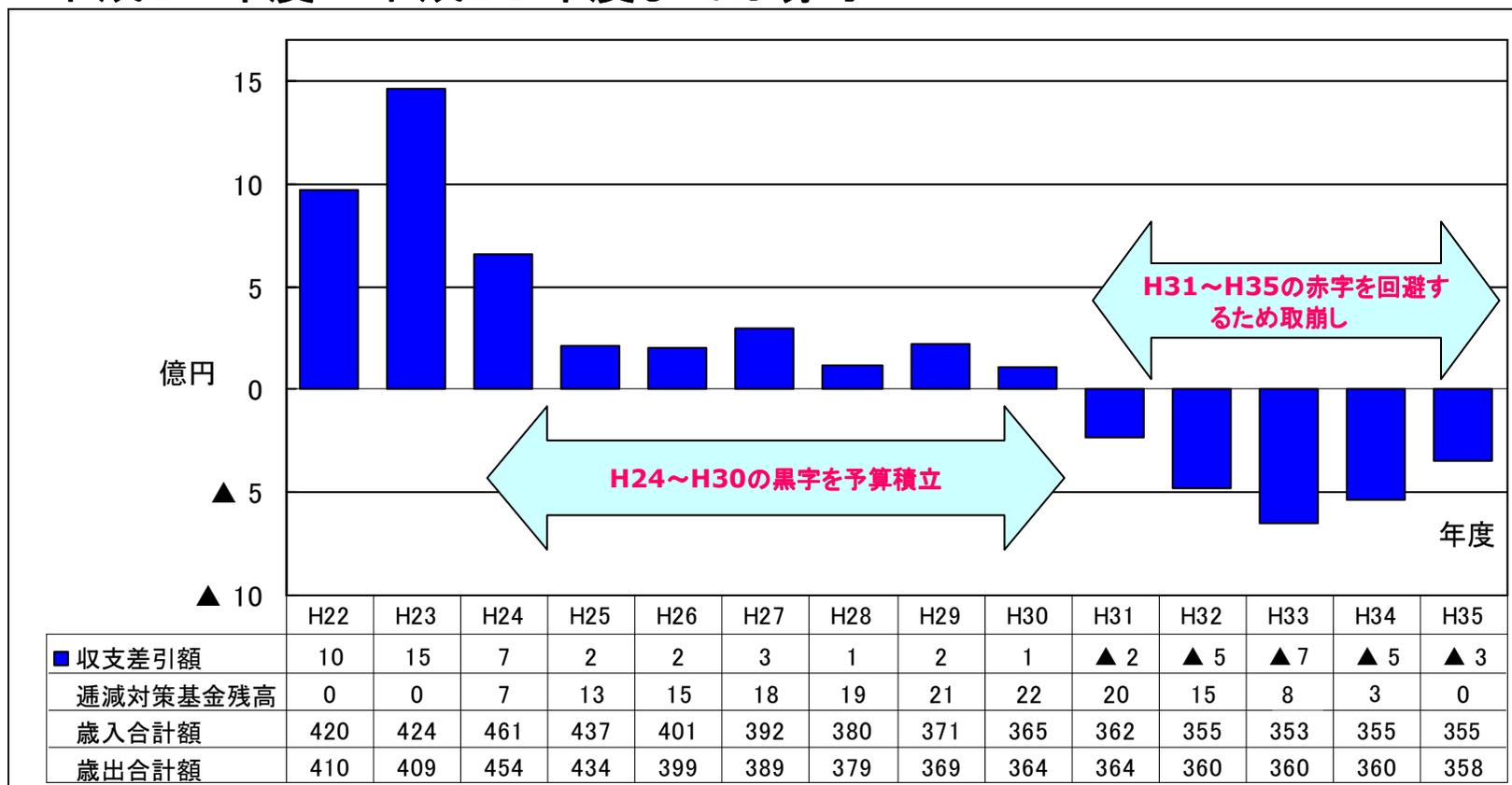
7 義務的経費の推移

- 人件費は徐々に減少
- 公債費は平成28年度をピークに徐々に減少
- 扶助費は高齢化の進展、子育て対策の拡充等により増加



8 収支状況の推移

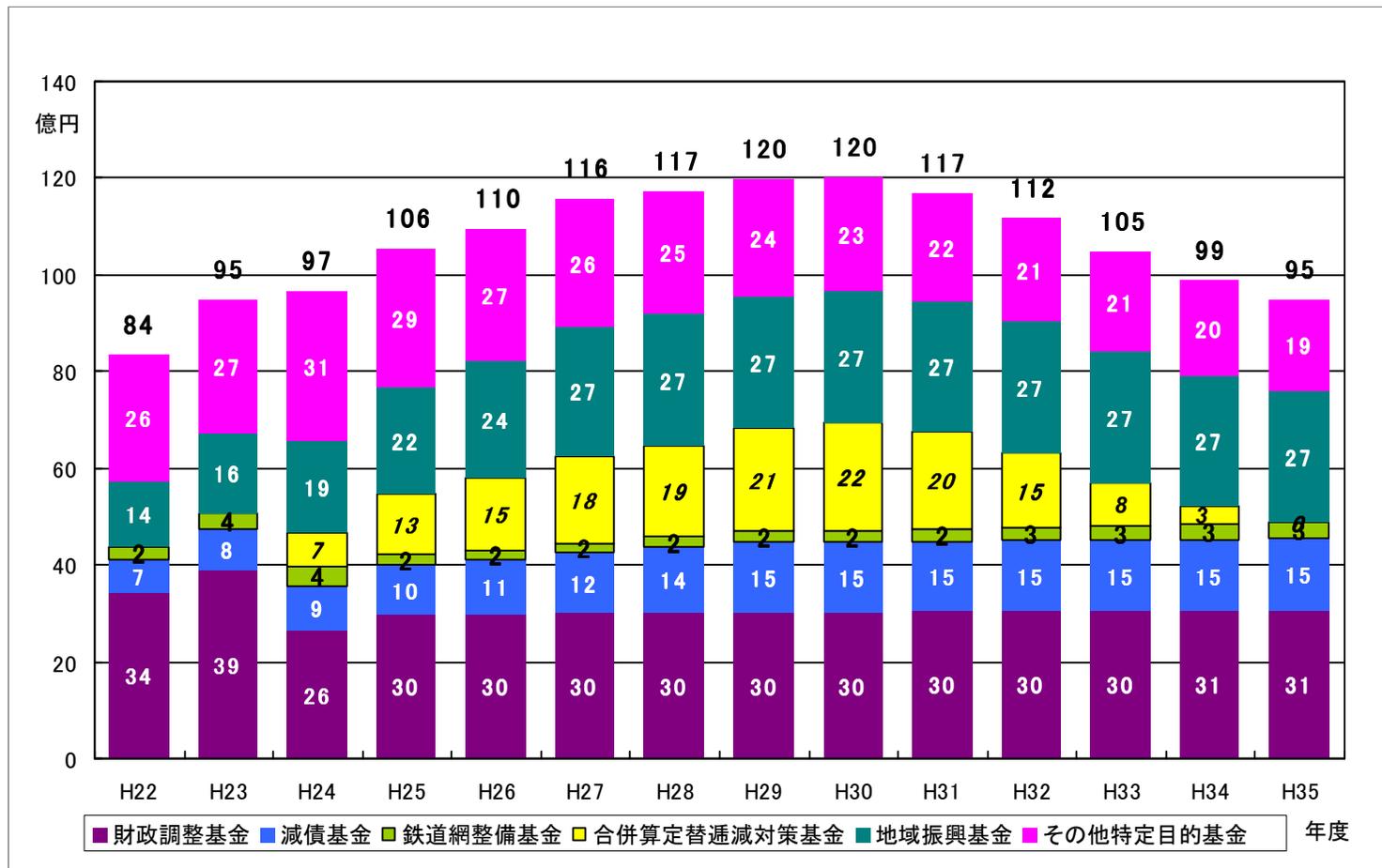
- 平成25年度～平成30年度までは黒字
- 平成31年度～平成35年度までは赤字



合併算定替逓減対策基金を活用

9 基金残高の推移

- 基金残高は平成30年度に最大の120億円
- 平成35年度まで合併算定替逓減対策基金により財源を年度間調整



10 市債残高の推移

- 合併特例事業が集中する平成25年度がピーク(551億円)
- 平成26年度以降は減少し、平成35年度には361億円に減少

